



# 釣りの魅力を語る

暖かい季節となり5月には令和と年号も新しくなりました。皆さん、新しい気持ちで生活を送れそうですね。さて、今回は釣りについて記事を書こうと思います。



私は釣りが趣味で休みの度に釣行に行きます。

釣りの魅力は、あの広大で神秘的な海に潜む魚を釣り上げる事です。釣る魚によって道具や餌を変えたりしますが、天候や潮の状況、時間なども大きく関係してきます。私はあまり考えずに暇さえあれば出かけます。釣れるときもあれば釣れない時もあります。私の思う釣りの一番の魅力はどんな魚が掛かるか分からぬ未知の部分なんです。子供の頃のプレゼントの包装用紙を開けるときの様なドキドキ感がたまりません。とても大きな魚が掛かると釣竿がしなり、魚も必死に逃げようとするため竿先がガクガク水中に引っ張られます。リールのドラグ(安全装置のようなもの)がギーと音を鳴らし糸が引っ張られていきます。「これは大物しかない!ここで焦ってしまえば逃げられてしまう。」早く出会いたい気持ちとは裏腹な慎重なやり取りが求められます。キター!と悲鳴を上げるほど興奮してしまいます。浮き釣りは浮きが水中に一気に吸い込まれる瞬間がたまりません。そしてリールを巻き上げ水面に魚が現れるまで、正体がなんなのか分からず、逃げられてしまうかもしれない不安感と楽しみな気持ちが入り混じりながらその瞬間を楽しめます。まさに子供の頃のドキドキわくわくした気分が味わえる所が最大の魅力かもしれません。釣れた後も新鮮な魚で夕食の食卓を彩る事間違いなしです。まれに大きな怪物級が掛かる事もあります。一度体験してしまうと次もまたあるかもしれないと、釣行してしまいます。ある種のギャンブル性や宝くじ的な要素もあると思います。最近は職場の釣り好きの方々と仕事終わりの夜釣りに行く事が楽しみとなっていますが、このメンバーでは誰も大物を釣り上げたものはいません。密かに一番最初に大物を釣り上げドヤ顔してやる~と企んでおります。



介護老人保健施設という職場においてもご利用者にドキドキわくわくして頂けるような毎日が送れるように様々な取組をみんなで考えて実施しており、



今後も職員も一体となって楽しくリハビリし生活を送れる空間を目指していきたいと思います。

話しあはりますが、釣りの一番の楽しみは、何と言っても外で食べるカップラーメンですね。ガスコンロを持っていき、仲間と釣りそっちのけで食べるカップラーメンは格別です。

季節によっても釣れる魚が変わり通年楽しめるスポーツです。是非、興味がある方は初めて見てはいかがでしょうか。



看護課長:玉置



初桜、花影、花冷え、桜雨…

花霞、花嵐に花筏。

桜にちなんだ言葉はたくさんあります。花開く僅かな期間を彩る言葉たち。桜に対する人々の思いが溢れているようです。

儂さ故に愛でるのか？ 華やかさ

故に愛でるのか？

桜一輪に春の到来を喜び、桜吹雪の美しさに息をのみ、花屑に人の世の憂いを思う… 感じ方は人それぞれですが、桜の様子に合わせた楽しみを知ることが、日本人の奥ゆかしさかもしれません。今年の花見はどんな瞬間を楽しまれたのでしょうか？職員からご報告させていただきます。



毎年恒例の花見を3月29日（金）午前に2Fのご利用者対象で実施しました。

予想より気温の上がりが悪く、その日はまだ施設の周りも日当たりの良い南側に面している桜しか花を咲かせていませんでした。

期待薄な行きの車内でしたが、旧ドリームランド内の相州春日神社横では八分咲きできれいなピンクの花びらをつけた桜に出会うことができ、木々の

下で写真を撮り散歩し楽しむことができました。

温かい前日に比べてその日は気温が10度前後しかない肌寒い天候で、車外に出られたご利用者は「寒い～」ということで短時間のみの花見となりましたが、神社内では人形供養祭のための様々な五月人形や雛人形も拝見することができ、また奈良から来た鹿達のかわいい姿にご利用者は癒されていました。

桜の色は空色のグレーと混じって一体化していて、やはり天気のよい日に花見を実施できなかったのはとても残念で、とても申し訳なく思いました。

しかし、車内ではいろいろな風景が



流れてくる度にご利用者毎に様々な反応があって笑顔もたくさんみられて、外出するだけでもとても刺激があるのでなと外出の大切さをひしひしと感じました。

今回あまり多くの方をお連れできませんでしたが、来年はより多くのご利用者に桜を楽しんで頂けるように企画できればと思います。



2階介護副主任：中山

# それでも桜は咲いて散る

平成も終わり、ついに新たな元号が決まりました。今年の花見は当初、春日神社（旧ドリームランドそば）に行く予定でしたが、あいにくの雨模様となってしまい、中止となってしまいました。なので、別の日にベラン



ダに出てもらい、施設の周りの桜を楽しんでもらうことになりました。やはり少し肌寒かったのですが、7～8分咲きの桜はお見事という他なく、ご利用者はジュースやお菓子を飲んだり、食べたりし（お酒が飲みたいというご利用者もいましたが）普段の生活とは違う究極の非日常ともいうべき花見を思い思いで楽しんで頂けたようでした。自然災害や大きな事



件があった平成も終わり、新しい時代に変わろうとしています。願わくば平和な時代であってほしいという人の想いに関係なく桜は次の時代も美しく咲き、儂げに散っていくでしょうね。

3階介護副主任：齋藤

## 施設の桜を見る会

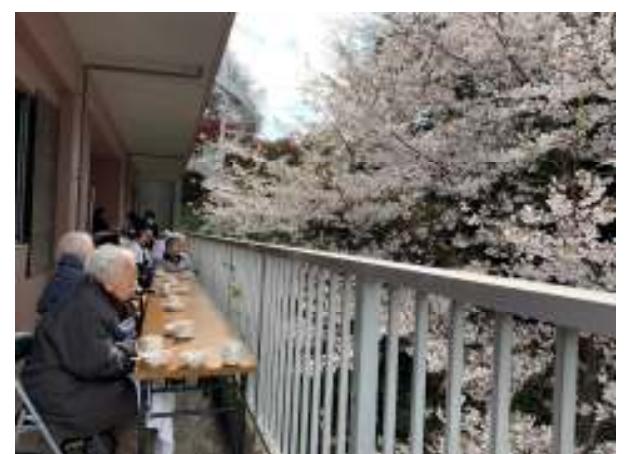
今年のお花見は紆余曲折あり、結果として冬のような寒さの中震えながらのお花見となってしまいました。

毎年3月の中頃になると桜の開花情報が世間を賑わし始め、デイケアでもそろそろお花見の計画をと動き始めます。今年の桜は早咲きとの予報。ケアポート・田谷の桜は3月22日に開花を観測いたしました。



テレビを見るとちょうど長崎の開花を告げていて、予想を上回る早い開花に驚き早めのお花見予定を組むこととしました。ところが施設の桜が順調に満開に近づいて行く一方で、近隣の桜はまだまだ咲き始めたばかり。寒暖差の大きなこの季節のためか、舞い戻ってきた寒さが咲き始めたはずの桜たちに待ったをかけてしまったようです。予定していたお花見の日程が近づく中、一向に咲かない近隣の桜の様子を見

て、いっその事この満開に咲いた施設の桜を見る会にしようか！という話になりました。ただこの桜は普段からリハビリで歩いているお散歩コースにあるため、目新しさはありません。考えた結果、ただ眺めるだけでは日常と変わらないので、毎月月初に行っている「おやつ週間」を外で行うことになりました。舞い散る桜の中、暖かいお茶と職員が作った出来立てのたこ焼きをお召し上がりいただく事で、いつもと違ったおやつ週間も楽しめるのではないかという目論見です。



上手く行く事を願って迎えた当日は、満開を過ぎて散り初める頃の丁度見ごろの桜となりました。時期はバッカリ。ですが天気はというと冷たい雨の降る、気温は6度という最悪のコンディションになってしまいました。おやつの準備も出来てもう後には引けない状態であったため、テーブルを並べ防寒対策をしっかりして、お花見に臨みました。



結果は冒頭の通り、職員にとって反省点の多い残念なお花見になってしまいましたが、利用者様方からはとても楽しかった！たまには外でのおやつも良いね！と、とても温かい言葉を頂くことが出来、寒い外気とは裏腹に心はとてもほっこりとしました。

後日、一週間ほどして、周辺の桜はとても朗らかな過ごしやすい気候の元、満開を迎えて、最高のお花見日和を迎えていました。ザンネンっ！！

通所リハ主任：大塚



去年から恒例行事となっているお花見兼お茶会を 4 月 5 日、昼食後に開催しました。

当日、朝からお昼までの間、何人かのご利用者から「今日はお茶会よね？」「何時に行っていいの？」とお茶会を楽しみにされている様子も伺えました。そして昼食後、エレベーター前に今か今かと集まるご利用者。私自身、今年のお茶会は初めて経験する



ものの、お誘いしても「寒いから…」と断られるのが関の山と思っていたので驚きました。

順番にエレベーターへご案内している間も、「ああ、私は何番かしら…」との声も聞かれました。



その日の天気予報では暖かく、風が強いと聞いていました。エレベーターを降りて外へ出ると、ブワッと強い風に迎えられ、ご利用者も職員も思わず、「うわあ！風が強い！」と一言。



施設の外周を歩き、桜の見えるベランダへ。風のおかげか、桜の花びらが舞い散っており、とても綺麗でした。「あら！すごく綺麗ね…！」と、立ち止まられるご利用者も。



ベランダにはテーブルと椅子を設置し、桜を観賞しながらお茶を楽しめるような演出をつくりました。

裏では本格的な抹茶を職員がたて、虎屋の羊羹を茶菓子として提供。私も、人生で初めてお茶をたてる経験をしました。

お茶を懐かしむご利用者や、「感動して嬉しくて…」と嬉し涙を流すご利用者もいらっしゃいました。レク委員としてもご利用者の普段とは違う表情を見る事ができてとても嬉しく、やりがいを感じました。

これからもレクを通してご利用者にとって素敵な時間、思い出になるように企画していきたいと思っています。

2階介護：望月

